

第1 公共施設再配置(本渡地域)基本方針

天草市の公共施設(建物施設)は、平成26年度末で、約2,500施設、延床面積で、約67万㎡となっています。昭和40年代後半から昭和50年代にかけて多くの施設が整備されており、築後30年以上経過し、更新の検討が必要な施設は、現在、約半数で延床面積が約30万㎡になると推計されます。

特に本渡地域には広域的な機能、公共サービスの核となる施設が集積しているものの、老朽化などの課題が顕著に表れていることから、下記施設について再配置の検討を行い、施設の複合化等について、平成27年3月に天草市公共施設再配置(本渡地域)基本方針を策定しました。

この基本方針の概要は次のとおりです。

1 対象施設の現状と再配置の視点

次の8つの施設を、複合化による整備か単独による整備かの検討を行いました。

対象施設

【本渡老人福祉センター】

築年：昭和47年

状況：1999年に大規模改修済

駐車場の不足

【男女共同参画センター】

築年：昭和52年

状況：夜間の利用も増加傾向で、親子での来訪も多い。(託児室が必要)

【本渡地区公民館・勤労青少年ホーム】

築年：昭和48年

状況：自主サークル等の定期利用が多い

【天草アーカイブズ】

築年：昭和54年

状況：H26に五和支所の耐震工事
廃校校舎等6か所の館外書庫

【本渡学校給食センター】

築年：昭和50年

状況：新和学校給食センターとの統合計画

【本渡歴史民俗資料館】

築年：昭和55年

状況：点在している施設の再編が課題

【中央図書館】

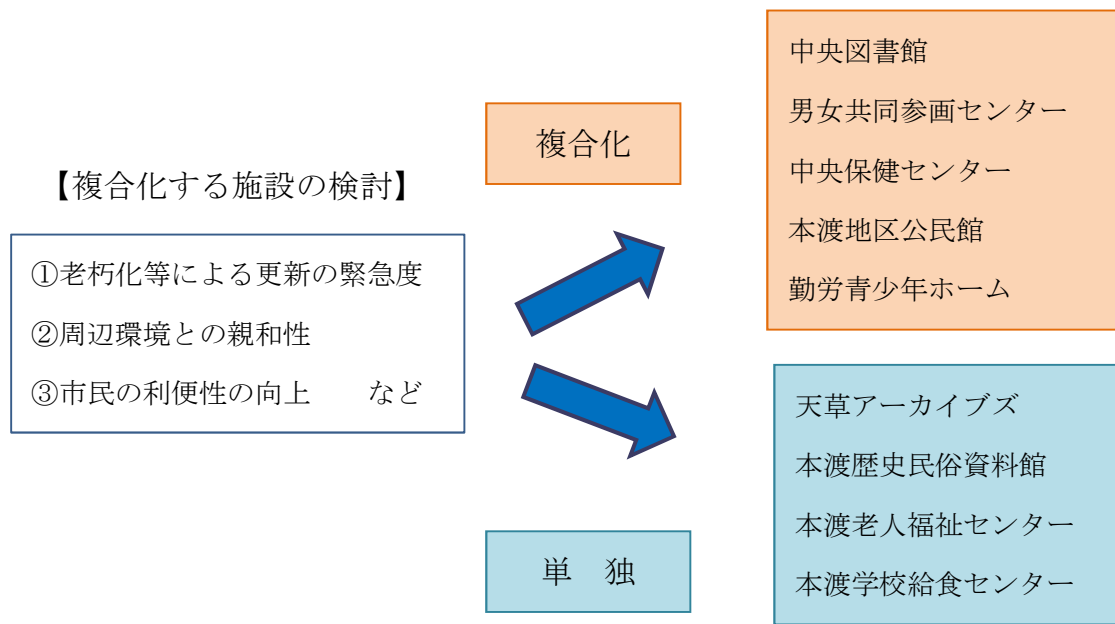
築年：昭和52年

状況：保有蔵書数13万冊に対し7万冊しか開架スペースに置けない状況

【中央保健福祉センター】

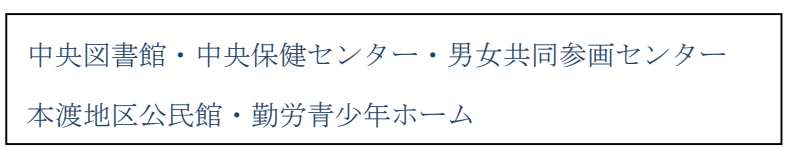
築年：昭和57年

状況：利用者のプライバシー確保が課題
駐車場の不足



2 対象施設の機能

本渡地区の5つの施設を複合化し、中央図書館としての機能、中央保健センターとしての機能、そして市民活動の場として、男女共同参画センター、公民館、勤労青少年ホームの機能を集約。



5つの施設を3つの機能に

